

【キャリア教育・就職支援】美作大学（コミュニティによる支援）

実地調査年月日：平成 29 年 11 月 20 日

実地調査担当：立石 慎治

1. 大学の概要

美作大学は、1967 年に（当時、美作女子大学として）開学し、1 学部（生活科学部）3 学科（食物学科・児童学科・社会福祉学科）、学生数約 900 人、専任教員数 52 人を擁する私立大学である。岡山県津山市に位置し、「一人ひとりの学びを大切にす面倒見の良さ」を特徴とした教育により、高い就職率（就職希望者に対する就職者数の割合）を数える（平成 28 年度実績で、食物学科 100%、児童学科 98%、社会福祉学科 100%）。Uターン就職実績も維持している。

2. 取組について

《背景等》

岡山県の県北地域における大学進学者数が 400 名程度を数えるなか、美作大学だけで 350 名の定員を設定しているため、県南地域・他県からも学生を集めなければならないという実情がある。そうした状況に置かれた小規模大学の生き残り策として、「教育力」を徹底的に磨きあげた。あえて地元を離れなければならない学生にとってのメリットとは何か、ということ突き詰めた結果が、学生が育ち、地元に戻って活躍できるようになる教育の提供である。

資格取得につながる魅力的なカリキュラムや、国公立大学に遜色ない国家試験合格率などの実績をあげることで、他大学との差別化を図った結果、現在の評価や実績につながった。将来、専門職に就く人材として、知識面と人間性を両面から育て上げるという意識を全教職員が持つことで、大学自体の「教育力」につながっていった。

また、同大学が提供する 3 分野「食」「子ども」「福祉」は、近隣他県出身者も多い同大学の学生の「出身地で将来に渡り貢献したい」という強い思いに合致している。地域の暮らしを支える 3 分野における専門人材を育て、出身地へ返すという意識により、Uターン就職への成果をあげている。

《取組概要》

「学生に寄り添う学生支援」をモットーに様々な学生支援を展開している。多くの大学に見られるトップダウンの手法とは異なり、教職員一人ひとりの積極的かつ自発的な対応により、学生に寄り添った支援を行えている。こうした「面倒見の良さ」の背景には、開学当初から培われてきた学内文化を下敷きとして、次のような、漏れの無い学生支援のしくみの構築がある。

①クラス担任を中心とする日常生活における支援

クラス担任による面談（前期及び後期）を全員対象に実施し、成績チェックや履修相談、生活状況の把握等を行っている。また、教室と研究室が物理的に近く、学生・教員間の精神的な近さにつながっており、学生にとって大学生活においての大きな安心感と、モチベーションの維持に効果的に働いている。

また、全学教職員の共通認識のもとで学生支援を行うために、「学生支援の手引き」を作成・配付している。“全ては学生のために”という精神が全教職員に浸透している一因でもある。

こうしたクラス担任を中心とした日常の支援に加えて、緊急性の高い事案については、副学長、学科長、クラス担任、学生部で構成されるチームが対応する体制が採られており、クラス担任が

全てを抱えずに済む仕組みになっている。

②専門部署による支援

健康維持やメンタルケア、障害等に関する特別支援は、専門部署によるサポート体制が整備されている。

特筆すべきなのは、「発達支援アドバイザー制度」であり、発達障害学生を指導する教員向けに相談体制が採られている。小規模大学であるため、各種のセンターを立ち上げるのが難しい状況があるものの、学内の福祉系分野の教員の協力があがり、助言を受けることができる。

③就職支援

就職支援室の職員と、クラス担任を含む学科の教員が連携して行う。担当する教職員それぞれが、各学生の希望地域や職種を把握するだけでなく、求人情報や内定状況を共有している。情報共有を行うことで、学生が相談を持ち込んだ際に、就職支援室だけでなく研究室でも対応可能な環境を作っている。(なお、就職支援室が独自に提供する支援については、本報告末尾を参照。)

また、企業開拓は教職員全員で分担する。OBがいる企業への訪問や、学生のニーズを踏まえた新規開拓を夏季に集中的に行い、求人を得てくる。一人が2、3社から多くて20社ほど訪問する。集中的に訪問するのは夏季だが、必要に応じての訪問は通年で行われている。

こうしたネットワークづくりは個別事業所とだけではなく、自治体とも試みられている。各県から学生が来ている関係から、当該学生への出身県へのUターン就職支援の更なる充実を図る観点からも、就職支援協定を結び、情報を共有することで支援につなげている。なお、高知県、島根県、鳥取県、愛媛県、津山広域事務組合との協定実績がある(本報告末尾を参照)。

文部科学省GP事業で構築した就職支援システムも引き続き活用されている。学生が就職を希望する地域と職種を登録することで、該当する情報がメールアドレスに自動配信されるしくみである。

④経済的サポート(独自奨学金制度)

学修への高い意欲を持ちつつも、経済的に進学が困難な生徒に対して、受験前から採否が決まる「進学支援特待生制度」を運用している。特待生としての採用が決まった場合は、受験以前に入学金・学納金減免及び寮費免除の確約が得られる。しかし、受験が課せられるわけではないため、受験しなくてもよい。また、「学業成績特待生制度」もあり、こちらは入試や在学中に優れた成績を取った場合に、一定額が給付されるしくみとなっている。

3. 実施した結果(成果)

就職率、国家資格試験合格率の高さという実績がまずもって成果である。学生一人ひとりに対する丁寧な支援を日常的に行うことで、学生の満足感が高く、安定した生活態度や学修への意欲にもつながっている。このような環境が実現している結果、学生は入学時のモチベーションを維持し続け、冒頭の成果に結実しているものと考えられる。

また、そうした数値上の実績だけでなく、卒業生の人物評価も高いことが評判につながっている。高校からの信用度も上がっており、志望者も伸びている。こうした評価が、安定的な学生確保の要因となっている。

そして、「教職員と学生がとても近い大学」であるという認識については、教職員側だけが一方的に実感しているのではなく、学生からも同大学の特徴として挙げられている(聴き取り調査での聴き取り内容より)。大学の学風として、このような教職員との日常的な関わりが保たれており、後述する特色にもつながっている。

4. 課題（今後の予定）

学生の出身比率が多い中国・四国地方の自治体との連携を更に充実させていくことが今後の課題のひとつである。香川や広島との連携はこれから実現すべきものとなっている。

沖縄県と就職支援協定を結びたいが、同県における求人状況からUターン就職に対して消極的にならざるを得ない実情があり、難しい状況である。

企業訪問等の際にOBOGに会うことなどを通じて状況把握ができてしまうため、相対的に同窓会組織に依存することがあまりないが、状況把握に同窓会組織を活用するのであれば、在り方や活用の仕方については今後の検討課題となっている。

5. 特色（優れているところ）・他大学等で参考となり得るところ

美作大学が優れている点で最も見逃してはならないのは、「学生に寄り添う学生支援」というモットーが題目に終わるのではなく、各実践においてその理念が突き詰められているところにある。いずれの学科も専門職育成の学科であることから、この高い就職率は専門職の就職・採用状況が比較的景気に左右されにくく安定しているがゆえだという見方も不可能ではないが、美作大学についていえば、おそらくそれは当たらないこととだと思われる。

本報告のトピックである就職支援の観点から見て、理念の徹底がもっとも表れているのが、就職支援室と学科との連携の在り方であろう。各学科の就職委員の教員が就職支援室に頻繁に足を運び、学生の就職活動状況や内定状況を共有している。就職支援室で得た情報は学科会議で共有され、逆に学科で把握している情報も就職支援室にフィードバックされ、多面的な支援を実現する環境づくりに寄与している。また、4年生を持つクラス担任には求人票のコピーが就職支援室から提供されるため、研究室、就職支援室の場所を問わず、求人状況を知ることができる環境が整えられている。

このことが何を実現させるかという点、就職支援室、あるいは、学科教員のどちらかに相談をしても、最終的にはその学生に必要な支援に展開していく、ということである。この種の支援において、もっとも避けるべきなのは、支援にアクセスしてこないことだが、支援室には行きやすい学生は支援室に、学科教員のところに行きやすい学生は学科教員のところに行くことで、アクセスしないという事態を避けられている。学生が必要な支援に無理なくアクセスできる状況が調えられているところが、まさしく「学生に寄り添う」を実現しており、出色である。

（本報告の「就職支援室」の項目を参照してください。）

6. 所見、その他特記すべきところ

美作大学について本欄に書き記しておくべきは、教職員と学生が近いというその学風であり、コミュニティの形成に成功している点である。学生への聴き取りからは、他学科の教員に指導をお願いしたところ、快諾してもらったというエピソードを聞くことができた。また、説明会が設定されていない事業者について説明会開催の要望を出したところ、それが叶えられたエピソードもまた学生から聞くことができた。どのようなイベントに出るといいのかを先輩が教えてくれたというエピソードも語られた。

こうした「面倒見の良さ」が定評を得ていることで、「打てば響く学生」（聴き取り内容より）が入学するに至っていることも、特記すべきことであろう。こうした学生が多いことが、例えば、3年秋に実施される就職ガイダンスへの出席率100%につながっており、またそこで紹介、案内されるメール配信サービスへの登録につながるなど、好循環を生み出している。

こうした学風がもたらす好循環は一朝一夕で生み出し得るものでない。また、美作大学が小規模なために家族的な雰囲気を醸成しやすいということもあるだろう。我々が美作大学の事例を前にして試みるべきなのは、そのまま真似ることではなく、各大学にある自大学の文化や教職員・学生のコミュニティの実態を捉え直し、そうした実態に適合した支援を考えるきっかけにする、ということではないだろうか。

平成29年度 就職支援 年間スケジュール(予定)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	近年
<ul style="list-style-type: none"> 就職オリエンテーション(1年生) 自治体別就職採用試験模試(2~4年生) 第1回企業説明会(2~4年生) 第3回就職採用試験模試(2~4年生) 高知県公立学校教員採用試験模試会(全学年) 就職ガイダンス(3年生)※2月までの間に計9回(詳細は下記) 公務員採用試験対策説明会(1~3年生) 教員採用試験対策説明会(1~3年生) 第1回体育士・幼稚園教諭試験対策模試(全学年) 岡山県北山市町村職員採用合同説明会 第1回公務員模試(全学年) 第2回企業説明会(2~4年生) 岡山県・岡山市公立学校教員採用試験説明会(他、鳥取県・高知県も実施)(全学年) 介護職員初任者研修説明会(全学年) 第2回体育士・幼稚園教諭試験対策模試(全学年) 第2回公務員模試(全学年) 介護職員初任者研修(全学年) 岡山県公立学校教員 試験対策説明会(4年生) 就職模試会(3年生)※他社・高校・中絶会※2月開催 分科別就職情報説明会(全学年) <ul style="list-style-type: none"> ※分科別就職模試に併せて実施(内閣府の求人情報、心のある人へ) 第1回就職採用試験模試(1~3年生) 第2回就職採用試験模試(1~3年生) SPI模擬試験(1~3年生) 筆記試験対策講座(1~3年生) 個別面談(面接相談、履歴書添削、面接練習など)(全学年) 就活アドバイスへの求人情報・就職イベントの情報提供(全学年)※求人情報は3~4年生のみ 学内合同企業説明会(3~4年生)※年1~2回開催 面接対策支援講座(全学年) 応募書類作成支援講座(全学年) 作文対策セミナー(全学年) 就職支援番号(鳥取・高知・沖縄)との個別面談・全体会(全学年)※5・7・12月開催 	<ul style="list-style-type: none"> 就職オリエンテーション(1年生) 第1回企業説明会(2年生) 公務員採用試験対策説明会(1年生) 第1回体育士・幼稚園教諭試験対策模試(全学年) 第1回公務員模試(全学年) 岡山県北山市町村職員採用合同説明会 第2回企業説明会(2年生) 介護職員初任者研修説明会(全学年) 第2回体育士・幼稚園教諭試験対策模試(全学年) 第2回公務員模試(全学年) 介護職員初任者研修(全学年) 就職ガイダンス(1年生)※2月までの間に計8回(詳細は下記) 就職模試会(1年生)※鳥取・高知・中絶会※2月開催 分科別就職情報説明会(全学年) <ul style="list-style-type: none"> ※分科別就職模試に併せて実施(内閣府の求人情報、心のある人へ) SPI模擬試験(1年生) 筆記試験対策講座(1年生) 履歴書添削・面接練習など(全学年) 就活アドバイスへの求人情報・就職イベントの情報提供(全学年) 学内合同企業説明会(全学年)※年1~2回開催 面接対策支援講座(全学年) 応募書類作成支援講座(全学年) 作文対策セミナー(全学年) 就職支援番号(鳥取・高知・沖縄)との個別面談・全体会(全学年)※5・7・12月開催 											

* 出典：『大学案内』(美作大学提供)より

美作大学・美作大学短期大学部が締結した就職支援協定

提携先	締結年月日(協定期)	協定内容	実施(実施日)
高知県	2014年3月26日(H26)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学生に対する県内の企業情報、各種イベント等の周知に関する事。 (2) 学内で行う合同企業説明会等の開催に関する事。 (3) 保護者向けの就職セミナーの開催に関する事。 (4) 学生の就職への1・1ターン就職に係る情報交換及び実績把握に関する事。 (5) 県内企業等における学生のインターンシップ受入の支援に関する事。 (6) その他、学生の1・1ターン就職促進に関する事。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 就職模試会への職員の出張(2015.3.8、2016.2.21、2017.2.19) (2) 高知県と本学の懇話会(2016.12.1) (3) 高知県職員の本学訪問(2015.9.16) (4) 高知県が企業と大学職員の就職情報交換会(2014.11.6、2015.11.4、2016.11.11、2017.1.26、2017.11.10) (5) 中小企業の魅力探究セミナー(2014.8.18・19・22・23) (6) 県内企業情報、各種就職イベントの情報提供と学生への周知(定期的)
愛媛県	2014年4月23日(H26)	<ul style="list-style-type: none"> (1) ジョブカフェ愛媛(愛媛県若年就職支援センター)及びふるさと愛媛センターの活用促進に関する事。 (2) 学生に対する愛媛県内の企業情報、各種イベント等の周知に関する事。 (3) 学生と愛媛県内企業とのマッチングの支援に関する事。 (4) その他、学生の1・1ターン就職促進に関する事。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) ジョブカフェ愛媛の活用促進依頼と学生への周知(定期的) (2) 県内企業情報、各種就職イベントの情報提供と学生への周知(定期的)
徳島県事務組合	2014年7月11日(H26)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学生に於ける徳島県内の企業情報、各種イベント等の周知に関する事。 (2) 学内外で行う面接会等の開催に関する事。 (3) 就職に係る情報交換及び実績把握に関する事。 (4) 県内の自治体職員等の就業に関する情報提供に関する事。 (5) 県庁から求職の支援を求めている場合の対応、また、その際の求職者のニーズに応じた情報提供に関する事。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学内合同企業説明会(2014.8.8、2015.9.18、2016.6.5、2017.6.4) (2) 県北高校訪問(2015.6.2、2016.6.13、2017.6.21) (3) 愛媛県内企業情報、各種就職イベントの情報提供と学生への周知(定期的)
鳥取県	2015年1月27日(H26)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学生に対する鳥取県内の企業情報、各種イベント等の周知に関する事。 (2) 学内で行う合同企業説明会等の開催に関する事。 (3) 保護者向けの就職セミナーの開催に関する事。 (4) 学生の鳥取県への1・1ターン就職に係る情報交換及び実績把握に関する事。 (5) しまむら学生登録の促進に関する事。 (6) 県内企業等のインターンシップ受入の支援に関する事。 (7) 学生に対する鳥取県に関する情報の発信に関する事。 (8) その他、学生の鳥取県への1・1ターン就職促進に関する事。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 就職模試会への職員の出張(2016.2.14、2017.2.12) (2) 学内就職説明会(2015.6.19、2016.4.27、2017.5.19) (3) 鳥取県と本学の懇話会(2017.9.3) (4) 鳥取県内企業と大学職員の就職情報交換会(2015.9.17、2016.3.15、2016.8.24、2017.8.3) (5) 就職フェア向けの昼日送迎バス(2016.12.28) (6) 鳥取県内13団体の就職相談会(2017.7.16) ※委託事業 (7) 県内企業情報、各種就職イベントの情報提供と学生への周知(定期的)
鳥取県、ふるさと鳥取県定住機構	2015年3月25日(H26)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学生に対する鳥取県内の企業情報、各種就職イベント等の周知 (2) 大学学内で行う就職相談会、企業説明会等の開催 (3) 学生の保護者に対する1・1ターン就職に係る情報提供 (4) 学生の就職に係る情報交換及び実績把握 (5) その他学生の1・1ターン就職促進 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学内合同企業説明会(2016.10.16、2017.6.4) (2) 鳥取県内企業と大学職員の就職情報交換会(2016.11.7・8、2017.11.21・22) (3) 学内就職説明会(2017.5.22) ※委託事業 (4) 県内企業情報、各種就職イベントの情報提供と学生への周知(定期的)

* 出典：美作大学提供資料より